

作物統計調査及び特定作物統計調査 令和4年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積

— 大豆の作付面積は、前年産に比べ4%増加 —

【調査結果の概要】

- 1 大豆
大豆の作付面積は15万1,400haで、前年産に比べ5,200ha（4%）増加した。
- 2 小豆
小豆の作付面積は2万3,200haで、前年産並みとなった。
- 3 いんげん
いんげんの作付面積は6,180haで、前年産に比べ950ha（13%）減少した。
- 4 らっかせい
らっかせいの作付面積は5,870haで、前年産に比べ150ha（2%）減少した。

表 令和4年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積（全国）

区 分	計			田			畑		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
大 豆	151,400	5,200	104	120,500	4,900	104	30,900	400	101
小 豆	23,200	△ 100	100	3,400	20	101	19,800	△ 100	99
いんげん	6,180	△ 950	87	273	△ 17	94	5,910	△ 930	86
らっかせい	5,870	△ 150	98	120	△ 5	96	5,750	△ 140	98

○ 大豆は全国を調査の対象としており、小豆、いんげん及びらっかせいは主産県を調査の対象とし、3年ごとに全国調査を実施している。令和4年産は小豆、いんげん及びらっかせいの主産県調査年であり、直近の全国調査年（令和3年産）の調査結果に基づき、全国値を推計している。
なお、主産県とは、直近の全国調査年（令和3年産）における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び畑作物共済事業（らっかせいを除く。）を実施する都道府県である。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 関税割当数量の算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

1 大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積の推移（全国）

単位：ha

区 分	大 豆			小 豆		
	計	田	畑	計	田	畑
平成25年産	128,800	108,900	19,900	32,300	5,140	27,200
26	131,600	110,800	20,800	32,000	4,800	27,200
27	142,000	117,700	24,300	27,300	4,040	23,300
28	150,000	120,300	29,800	21,300	3,350	17,900
29	150,200	120,800	29,400	22,700	3,240	19,400
30	146,600	118,400	28,300	23,700	3,430	20,300
令和元	143,500	116,000	27,600	25,500	3,530	22,000
2	141,700	114,200	27,500	26,600	3,720	22,900
3	146,200	115,600	30,500	23,300	3,380	19,900
4（概数）	151,400	120,500	30,900	23,200	3,400	19,800

区 分	いんげん			らっかせい		
	計	田	畑	計	田	畑
平成25年産	9,120	365	8,760	6,970	140	6,830
26	9,260	301	8,960	6,840	140	6,700
27	10,200	330	9,910	6,700	138	6,560
28	8,560	292	8,270	6,550	132	6,420
29	7,150	318	6,840	6,420	133	6,280
30	7,350	308	7,040	6,370	133	6,240
令和元	6,860	305	6,560	6,330	126	6,210
2	7,370	321	7,050	6,220	125	6,090
3	7,130	290	6,840	6,020	125	5,890
4（概数）	6,180	273	5,910	5,870	120	5,750

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』（以下2まで同じ。）

2 大豆、小豆及びいんげん（乾燥子実）の作付面積の推移（北海道）

単位：ha

区 分	大 豆	小 豆	いんげん	金 時		手 亡
				金	時	
平成30年産	40,100	19,100	6,790	5,140	1,210	
令和元	39,100	20,900	6,340	4,590	1,360	
2	38,900	22,100	6,880	4,780	1,780	
3	42,000	19,000	6,660	4,830	1,500	
4（概数）	43,200	19,100	5,740	4,120	1,320	

注：「金時」には「きたロッシ」は含んでいない。

【調査結果】

1 大豆（乾燥子実）の作付面積

大豆の作付面積は15万1,400haで、前年産に比べ5,200ha（4％）増加した。これは、他作物からの転換等があったためである。

図1 大豆の作付面積の推移（全国）

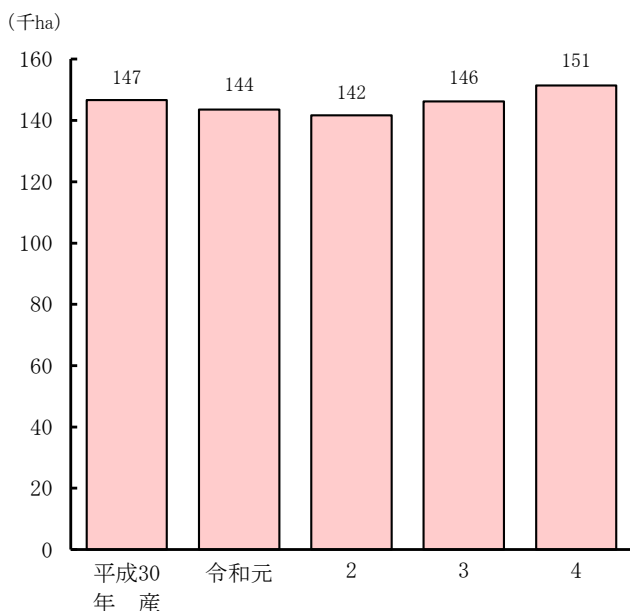
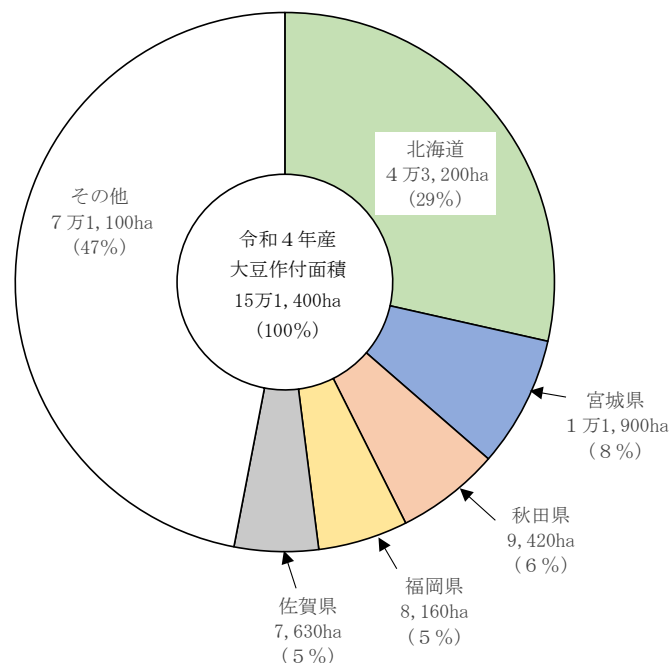


図2 大豆の都道府県別作付面積及び割合



注：統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、図8まで同じ。）。

2 小豆（乾燥子実）の作付面積

小豆の作付面積は2万3,200haで、前年産並みとなった。

主産地である北海道の作付面積は1万9,100ha（全国の約8割）で、前年産並みとなった。

図3 小豆の作付面積の推移（全国）

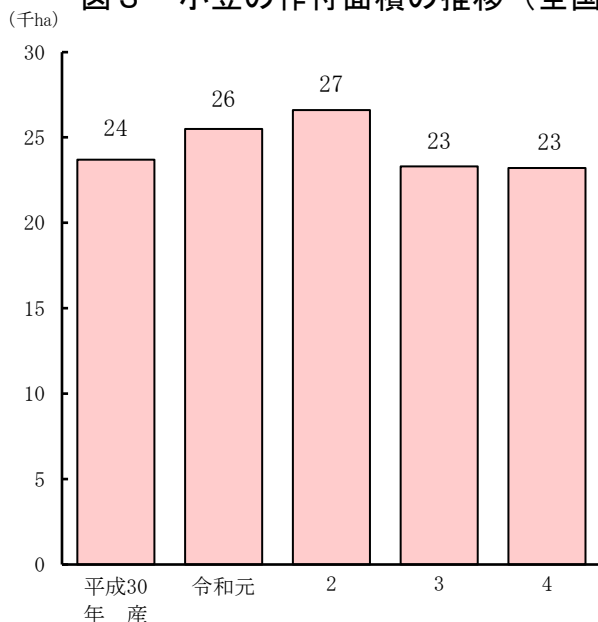
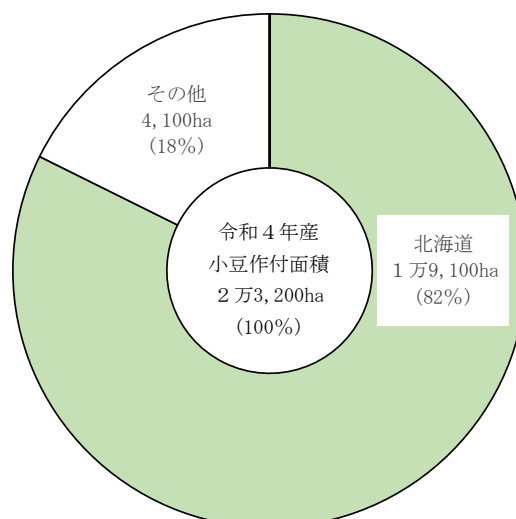


図4 小豆の都道府県別作付面積及び割合



3 いんげん（乾燥子実）の作付面積

いんげんの作付面積は6,180haで、前年産に比べ950ha（13%）減少した。

主産地である北海道の作付面積は5,740ha（全国の約9割）で、他作物への転換等により、前年産に比べ920ha（14%）減少した。

図5 いんげんの作付面積の推移（全国）

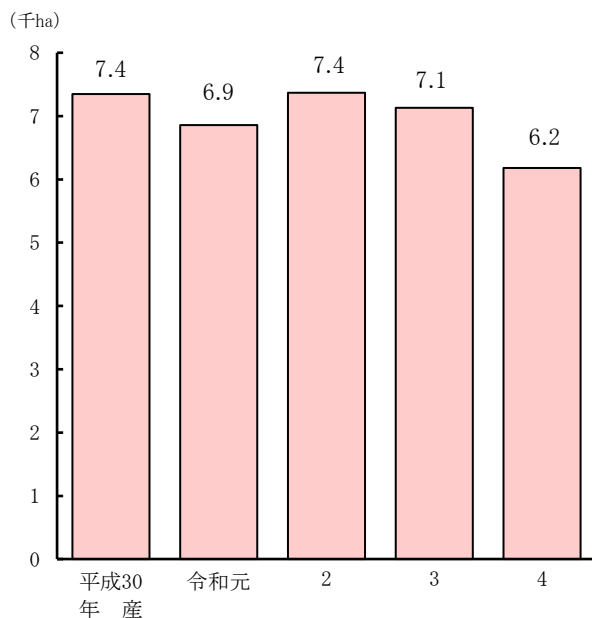
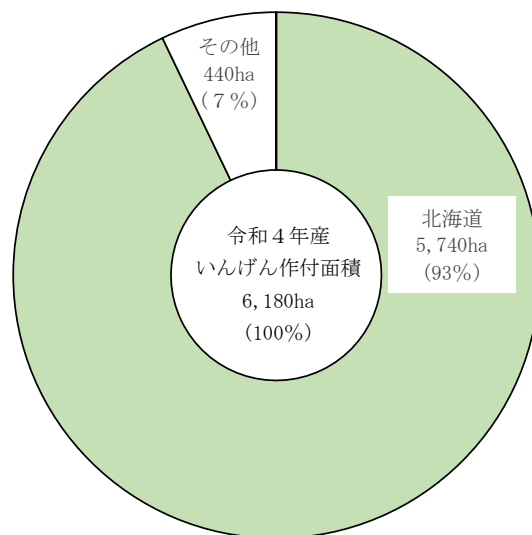


図6 いんげんの都道府県別作付面積及び割合



4 らっかせい（乾燥子実）の作付面積

らっかせいの作付面積は5,870haで、前年産に比べ150ha（2%）減少した。

主産地である千葉県の作付面積は4,790ha（全国の約8割）で、高齢化による労力不足に伴う作付中止等により、前年産に比べ100ha（2%）減少した。

図7 らっかせいの作付面積の推移（全国）

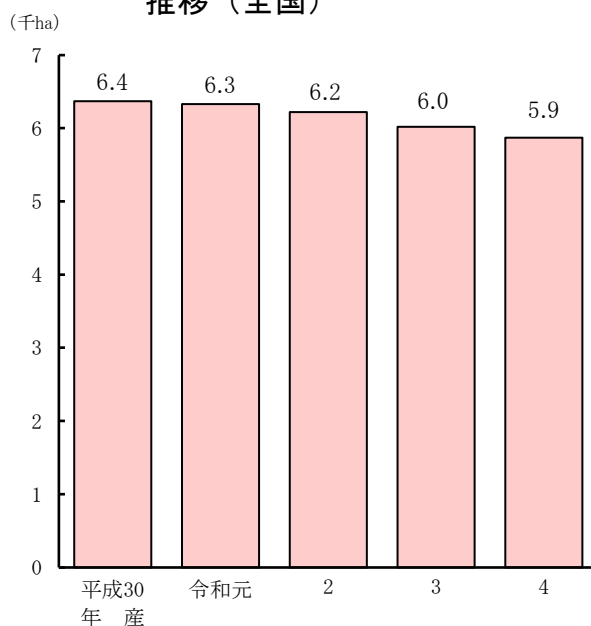
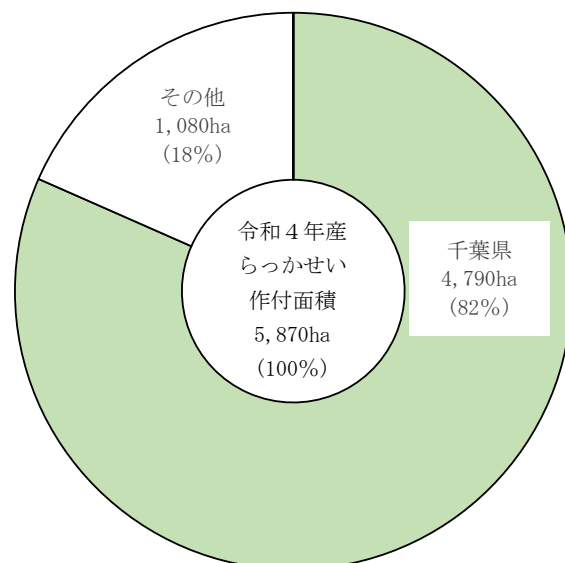


図8 らっかせいの都道府県別作付面積及び割合



【 統 計 表 】

統計表一覧

ページ

1	令和4年産大豆（乾燥子実）の作付面積	6
2	令和4年産小豆（乾燥子実）の作付面積	7
3	令和4年産いんげん（乾燥子実）の作付面積	7
4	令和4年産らっかせい（乾燥子実）の作付面積	7

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）	2桁		1桁	四捨五入しない
例 四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
- 「0」： 単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）又は増減のないもの
 - 「-」： 事実のないもの
 - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「x」： 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
 - 「△」： 負数又は減少したもの
 - 「nc」： 計算不能
- 3 秘匿措置について
統計調査結果について、生産者数が2以下の場合には、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。
なお、全体（計）からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。
- 4 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和4年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積」（農林水産省）による旨を記載してください。

【統計表】

1 令和4年産大豆（乾燥子実）の作付面積

全国農業地域 ・ 都道府県	計			田			畑		
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国 (1) (全国農業地域)	151,400	5,200	104	120,500	4,900	104	30,900	400	101
北 海 道 (2)	43,200	1,200	103	19,400	900	105	23,800	300	101
都 府 県 (3)	108,200	4,000	104	101,100	3,900	104	7,080	60	101
東 北 (4)	37,800	2,200	106	35,200	2,200	107	2,590	50	102
北 陸 (5)	12,400	700	106	11,700	600	105	618	31	105
関 東・東 山 (6)	10,100	360	104	7,810	380	105	2,330	20	101
東 海 (7)	12,100	△ 100	99	11,700	△ 100	99	391	4	101
近 畿 (8)	9,790	520	106	9,660	530	106	130	△ 5	96
中 国 (9)	4,460	180	104	4,130	190	105	328	△ 7	98
四 国 (10)	540	39	108	515	36	108	25	3	114
九 州 (11)	21,000	0	100	20,300	0	100	670	△ 34	95
沖 縄 (12)	x	x	x	-	-	nc	x	x	x
(都道府県)									
北 海 道 (13)	43,200	1,200	103	19,400	900	105	23,800	300	101
青 森 (14)	5,390	320	106	4,820	360	108	574	△ 31	95
岩 手 (15)	4,840	310	107	4,310	350	109	526	△ 35	94
宮 城 (16)	11,900	900	108	11,600	900	108	327	44	116
秋 田 (17)	9,420	600	107	8,850	500	106	566	95	120
山 形 (18)	4,910	170	104	4,810	170	104	100	1	101
福 島 (19)	1,410	0	100	909	23	103	499	△ 23	96
茨 城 (20)	3,380	20	101	2,280	30	101	1,100	△ 10	99
栃 木 (21)	2,510	160	107	2,330	170	108	187	1	101
群 馬 (22)	287	9	103	140	△ 1	99	147	10	107
埼 玉 (23)	657	38	106	540	35	107	117	3	103
千 葉 (24)	880	4	100	633	△ 10	98	247	14	106
東 京 (25)	4	0	100	-	-	nc	4	0	100
神 奈 川 (26)	39	2	105	8	△ 3	73	31	5	119
新 潟 (27)	4,200	110	103	4,030	110	103	166	△ 2	99
富 山 (28)	4,510	260	106	4,510	270	106	6	0	100
石 川 (29)	1,790	170	110	1,380	130	110	409	33	109
福 井 (30)	1,870	130	107	1,830	130	108	37	0	100
山 梨 (31)	215	3	101	142	3	102	73	0	100
長 野 (32)	2,160	150	107	1,740	160	110	423	△ 5	99
岐 阜 (33)	3,040	80	103	2,960	80	103	79	△ 3	96
静 岡 (34)	203	△ 41	83	157	△ 41	79	46	0	100
愛 知 (35)	4,490	20	100	4,290	10	100	207	8	104
三 重 (36)	4,340	△ 190	96	4,280	△ 190	96	59	△ 1	98
滋 賀 (37)	6,800	310	105	6,760	310	105	42	0	100
京 都 (38)	339	21	107	315	23	108	24	△ 2	92
大 阪 (39)	17	2	113	17	2	113	0	0	nc
兵 庫 (40)	2,480	200	109	2,440	200	109	37	0	100
奈 良 (41)	125	△ 9	93	100	△ 6	94	25	△ 3	89
和 歌 山 (42)	26	△ 1	96	24	△ 1	96	2	0	100
鳥 取 (43)	708	41	106	690	38	106	18	3	120
島 根 (44)	804	21	103	703	20	103	101	1	101
岡 山 (45)	1,590	40	103	1,450	50	104	141	△ 8	95
広 島 (46)	400	△ 8	98	354	△ 5	99	46	△ 3	94
山 口 (47)	955	85	110	933	85	110	22	0	100
徳 島 (48)	15	0	100	13	0	100	2	0	100
香 川 (49)	71	4	106	71	4	106	0	0	nc
愛 媛 (50)	378	32	109	361	29	109	17	3	121
高 知 (51)	76	3	104	70	3	104	6	0	100
福 岡 (52)	8,160	△ 30	100	8,140	△ 40	100	19	0	100
佐 賀 (53)	7,630	△ 220	97	7,530	△ 220	97	105	5	105
長 崎 (54)	376	△ 24	94	297	△ 15	95	79	△ 9	90
熊 本 (55)	2,660	160	106	2,320	200	109	344	△ 38	90
大 分 (56)	1,560	120	108	1,500	120	109	59	△ 1	98
宮 崎 (57)	244	26	112	228	14	107	16	12	400
鹿 児 島 (58)	386	41	112	338	44	115	48	△ 3	94
沖 縄 (59)	x	x	x	-	-	nc	x	x	x

注：作付面積について、大豆は全国調査を実施している。

2 令和4年産小豆（乾燥子実）の作付面積

全国・主産県	計			田			畑					
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較				
		対差	対比		対差	対比		対差	対比			
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国	23,200	△	100	100	3,400	20	101	19,800	△	100	99	
う ち 北 海 道	19,100		100	101	1,300	30	102	17,700		0	100	
滋 賀 県	180	△	9	95	171	△	9	95	9		0	100
京 都 府	458		0	100	437	1	100	21	△	1	95	

注： 作付面積について、小豆、いんげん及びらっかせいは主産県を調査の対象とし、3年ごとに全国調査を実施している。令和4年産は主産県調査年であり、直近の全国調査年（令和3年産）の調査結果に基づき、全国値を推計している。

なお、主産県とは、直近の全国調査年（令和3年産）における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び畑作共済事業（らっかせいを除く。）を実施する都道府県である。

3 令和4年産いんげん（乾燥子実）の作付面積

全国・主産県	計			田			畑					
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較				
		対差	対比		対差	対比		対差	対比			
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国	6,180	△	950	87	273	△	17	94	5,910	△	930	86
う ち 北 海 道	5,740	△	920	86	233	△	13	95	5,510	△	910	86
う ち 金 時	4,120	△	710	85	…	…	nc	…	…	…	nc	
手 亡	1,320	△	180	88	…	…	nc	…	…	…	nc	

注：「金時」、「手亡」とはいんげんの種類を示す。なお、「金時」には「きたロツソ」は含んでいない。

4 令和4年産らっかせい（乾燥子実）の作付面積

全国・主産県	計			田			畑					
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較				
		対差	対比		対差	対比		対差	対比			
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国	5,870	△	150	98	120	△	5	96	5,750	△	140	98
う ち 千 葉	4,790	△	100	98	30	△	5	86	4,760	△	100	98

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査及び特定作物統計調査の作付面積調査として実施したものであり、豆類の生産に関する実態を明らかにすることにより、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料、関税割当数量の算定のための資料等とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

ア 大豆

全国

イ 小豆、いんげん及びらっかせい

令和4年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を3年ごとに実施しており、全国調査以外の年にあつては、調査対象品目ごとに、直近の全国調査年（令和3年産）における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び畑作物共済事業（らっかせいを除く）を実施する都道府県（主産県）を調査の範囲としている。

(2) 調査対象者の選定

大豆、小豆、いんげん又はらっかせいを取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

(3) 調査対象者数

作物の種類	団体数 ①	有効回答数 ②	有効回答率 ③=②/①
	団体	団体	%
大豆	610	603	98.9
小豆	114	109	95.6
いんげん	48	48	100.0
らっかせい	3	3	100.0

3 調査事項

田畑別作付面積

なお、北海道にあつては、いんげんの種類別作付面積

4 調査期日

令和4年9月1日現在

5 調査・集計方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。

(1) 大豆

関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完し、全国値は都道府県の作付面積の積み上げにより算出した。

(2) 小豆、いんげん及びらっかせい

関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

なお、令和4年産は主産県調査年であることから、全国値は以下により推計した。

全国値＝主産県の作付面積＋主産県以外の各都道府県（以下「非主産県」という。）の作付面積（x）の合計値

x：直近の全国調査年（令和3年産）における非主産県の作付面積の合計値
×作付面積の変動率（y）

$$y : 1 + \left(\frac{\text{直近の全国調査年（令和3年産）における非主産県の作付面積の合計値}}{\text{前々回の全国調査年（平成30年産）における非主産県の作付面積の合計値}} - 1 \right) \\ \times \frac{\text{直近の全国調査年からの経過年数（1年）}}{\text{全国調査年の周期（3年）}}$$

6 実績精度

本調査は、関係団体に対する全数調査結果を用いて全国値を算出しているため、実績精度の算出は行っていない。

7 用語の解説

- (1) 作付面積とは、は種又は植付けをしてからおおむね1年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。
- (2) 乾燥子実とは、食用を目的に未成熟（完熟期以前）で収穫されるもの（えだまめ、さやいんげん等）を除いたものをいう。

8 全国農業地域の表章区分

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

9 その他

(1) この資料の数値は、概数値である。

確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和5年2月予定）するとともに、その後刊行する『令和4年耕地及び作付面積統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

(2) 大豆の収穫量については、『令和4年産大豆（乾燥子実）の収穫量』として令和5年4月に、小豆、いんげん及びらっかせいの収穫量（概数）については、『令和4年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量』として令和5年2月に公表を予定している。

【ホームページ掲載案内】

○ 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「いも・雑穀・豆」の「面積調査」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/index.html#y6> 】

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織別から探す>大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

大豆関係ページ：農林水産省>組織別から探す>農産局>米（稲）・麦・大豆>

大豆のホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/daizu/index.html>

お問合せ先

◎本統計結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3681

（直通）03-6744-2045

F A X： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037

F A X： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>